

人類生態学教室年報 —2017 年・2018 年—
Biannual Report of the Department of Human Ecology —2017/2018—

2019 年 6 月
東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻人類生態学教室
Department of Human Ecology, School of International Health,
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

目次

教育活動（2017 年度・2018 年度）	2
学部講義.....	2
学部実習.....	6
大学院講義.....	7
卒業論文.....	8
修士論文.....	8
博士論文.....	9
研究業績（2017 年・2018 年）	10
原著論文.....	10
単行本.....	12
総説・資料・他	12
学会発表.....	13
受賞	15
競争的資金の獲得.....	16
教室員一覧（2017 年度・2018 年度）	17
2019 年度所属学生.....	19



人類生態学教室ウェブサイト
<http://www.humeco.m.u-tokyo.ac.jp/>

教育活動（2017 年度・2018 年度）

学部講義

生理学（2 年生・必修）

【2017 年度】	担当：佐々木誠一
9 月 29 日	生理学の基礎、血液、呼吸
10 月 6 日	循環、腎臓の機能
10 月 13 日	消化と吸収、栄養と代謝、体温の調節
10 月 20 日	内分泌、生殖
10 月 25 日	神経、シナプスと筋
11 月 1 日	血圧測定と心電図に関する記録
11 月 14 日	試験
【2018 年度】	担当：佐々木誠一
9 月 28 日	生理学の基礎、血液、呼吸
10 月 5 日	循環、腎臓の機能
10 月 12 日	消化と吸収、栄養と代謝、体温の調節
10 月 19 日	内分泌、生殖、神経とシナプス
10 月 26 日	筋収縮、神経系、感覚
11 月 9 日	講義のまとめと試験
11 月 13 日	血圧測定と心電図に関する実習

環境と健康（2 年生・必修）

【2017 年度】	
11 月 30 日	環境保健学の基礎（梅崎昌裕）
12 月 7 日	地球環境：主な地球環境問題：実際の取り組みと課題 （橋爪真弘）
12 月 14 日	大気汚染 基礎と過去／現状と課題（新田裕史）
12 月 21 日	職場の心理社会的環境と健康（今村幸太郎）
12 月 27 日	衛生環境と健康（仲上豪二郎）
1 月 11 日	職業曝露と健康職業保健の基礎／職業現場での化学物質曝露 （吉田稔）
1 月 18 日	環境対策の研究と実践（渡辺知保）

【2018 年度】

11月29日	地球と人類の持続可能性、環境の評価、 グループワーク①準備：妊娠中に魚を食べても大丈夫？一東大医学部の研究者による講演と Q&A（小西祥子）
12月6日	グループワーク①発表（小西祥子）、衛生環境と健康（仲上豪二郎）
12月13日	職場の心理社会的環境と健康（今村幸太郎）、 大気汚染と健康（新田裕史）
12月20日	環境の管理（小西祥子）
12月27日	職業曝露と健康（吉田稔）、環境対策の実際（渡辺知保）
1 月 7 日	地球環境と健康（橋爪真弘）
1月10日	リスクコミュニケーション、 グループワーク②準備：福島原発事故（小西祥子）
1月17日	グループワーク②発表（小西祥子、梅崎昌裕）

薬理学・毒性学（2 年生・必修）

【2017 年度】

11 月 21 日	薬理学入門（野崎智義）
11 月 28 日	薬物動態学の基礎（鈴木洋史、高田龍平）
12 月 5 日	自律神経および循環薬理学（廣瀬謙造） 中枢神経薬理学（上田泰己）
12 月 12 日	毒性学入門（渡辺知保）
12 月 19 日	薬のライフサイクルと調査研究（小出大介）、化学療法（渡辺洋一）
1 月 9 日	循環器・生活習慣病領域の臨床試験およびゲノム解析について （山崎力、東口治弘）
1 月 16 日	発達神経毒性と行動評価（靱島旭）
1 月 30 日	試験

【2018 年度】

11 月 20 日	薬はなぜ効くのか 薬理学入門（姫野誠一郎）
11 月 27 日	毒とは何か？ どこまで安全か？ 毒性学入門（姫野誠一郎）
12 月 4 日	薬害、食中毒、環境汚染はなぜ起こるのか（姫野誠一郎）
12 月 11 日	薬物間相互作用（高田龍平）、薬物動態学の基礎（苅谷嘉顕）
12 月 18 日	自律神経および循環薬理学（廣瀬謙造）、 中枢神経薬理学（上田泰己）
1 月 8 日	発達神経毒性、動物を用いた行動毒性試験（靱島旭）
1 月 15 日	薬理ゲノム学（東口治弘）、医薬品の安全評価（小出大介）
1 月 22 日	試験

人類生態学（3年生・必修）

【2017 年度】

4 月 11 日	人間生態系とは何か／適応のとらえかた（梅崎昌裕）
4 月 18 日	人類集団の多様性と進化（梅崎昌裕）
4 月 25 日	社会と生業（梅崎昌裕）
5 月 2 日	活動の把握と生態学（梅崎昌裕）
5 月 9 日	栄養転換／微量栄養素と健康（小坂理子）
5 月 16 日	人口転換／出生の生物人口学（小西祥子）
5 月 23 日	現代の人口問題／環境問題（梅崎昌裕）
5 月 30 日	試験

【2018 年度】

4 月 10 日	人間生態系とは何か／適応のとらえかた（梅崎昌裕）
4 月 17 日	人類集団の進化と生物学的多様性（梅崎昌裕）
4 月 24 日	社会と生業の多様性（梅崎昌裕）
5 月 1 日	行動と活動の把握と生態学（梅崎昌裕）
5 月 8 日	栄養転換／微量栄養素と健康（小坂理子）
5 月 15 日	人口転換／出生の生物人口学（小西祥子）
5 月 22 日	現代の人口問題／環境問題（梅崎昌裕）
5 月 29 日	試験

医療人類学（3年生・選択）

【2017 年度】

担当：梅崎昌裕、卯田宗平、田所聖志	
4 月 7 日	オリエンテーション 身体観：病が治癒するというイメージ
4 月 14 日	文化相対主義：文化的行動はどこまでゆるされるか
4 月 21 日	リスク論：生牡蠣を食べて輸入牛をたべないという理不尽な行動
4 月 28～30 日	千葉県勝山市における集中講義・フィールドワーク実習

【2018 年度】

担当：梅崎昌裕、卯田宗平、田所聖志	
4 月 6 日	信念・身体観
4 月 13 日	リスク・日本人の「病気観」はあるのか
4 月 20 日	文化相対主義
4 月 27 日	規範・制度・正義
5 月 11 日	贈答・交換・互酬性
5 月 25～27 日	フィールドワーク実習

人口学（3年生・選択）

【2017年度】

9月26日	人口データ・人口指標（梅崎昌裕）
10月3日	死亡の人口指標（梅崎昌裕）
10月10日	出生の人口指標（小西祥子）
10月17日	出生力の生物学（小西祥子）
10月24日	途上国の人口問題（梅崎昌裕）
10月31日	イスラム社会の人口問題（末吉秀二）
11月7日	日本の人口問題（梅崎昌裕）

【2018年度】

9月25日	人口構造の分析・人口指標の計算（小西祥子）
10月2日	死亡の人口指標 （標準化死亡率／比、生命表解析；小西祥子）
10月9日	出生の人口指標 （普通出生率、合計特殊出生率、母親-子ども比；小西祥子）
10月16日	出生の生物人口学（小西祥子）
10月23日	イスラム社会の人口問題（末吉秀二）
10月30日	人口推計の方法（小西祥子）
11月6日	日本の人口問題（梅崎昌裕）

環境工学・人間工学（4年生・選択）

【2017年度】

4月13日	ナノマシンを用いたピンポイント治療 （内田智士 工学系研究科バイオエンジニアリング専攻）
4月20日	環境工学におけるリスク管理 （福士謙介 サステイナビリティ学連携研究機構）
4月27日	Ecological Momentary Assessment の臨床応用 （吉内一浩 ストレス防御・心身医学／心療内科）
5月11日	都市環境と犯罪・身体活動 （樋野公宏 工学系研究科都市工学専攻）
5月18日	ロボット工学とサイバーフィジカル （森武俊・野口博史 ライフサポート技術開発学）
5月25日	生物・ヒトの生存戦略と未来環境 （磯山隆 医用生体工学）

環境人間工学（4年生・選択）

【2018年度】

- | | |
|-------|--|
| 6月6日 | 都市環境と身体活動
(樋野公宏 工学系研究科都市工学専攻) |
| 6月13日 | 環境工学におけるリスク管理
(福士謙介 サステナビリティ学連携研究機構) |
| 6月20日 | ロボット工学とサイバーフィジカル
環境中センサによる非拘束人体センシング
(野口博史 ライフサポート技術開発学) |
| 6月27日 | ロボット工学とサイバーフィジカル みまもり工学への一歩
(森武俊 ライフサポート技術開発学) |
| 7月4日 | Ecological Momentary Assessment の臨床応用
(吉内一浩 医学部附属病院心療内科) |
| 7月18日 | バイオ医薬品・遺伝子治療・メッセンジャーRNA 医薬品
(内田智士 工学系研究科バイオエンジニアリング専攻) |

学部実習

保健学実験・検査法（ラボメソ）Ⅱ（3年生・専修必修）

- | | | |
|----------|-------|-------------------|
| 【2017年度】 | 6月16日 | 担当：小西祥子、小坂理子 |
| 【2018年度】 | 6月14日 | 担当：小西祥子、小坂理子、水野佑紀 |

大学院講義

人類生態学特論Ⅰ (Human Ecology I)

【2017 年度】

- April 14 Human Biology: An Evolutionary and Biocultural Perspectives (Chapter 1);
Demographic Problems in Japan and developing countries
(Masahiro Umezaki)
- April 21 Human Life Cycle (Chapter 11; Shoko Konishi)
- April 28 Human Energetic (Chapter 8; Satoko Kosaka)
- May 12 Human Nutritional Evolution: the basics (Chapter 7; Masahiro Umezaki)
- May 19 Human Nutritional Evolution: the case studies
(Chapter 7; Masahiro Umezaki)
- May 26 Population Dynamics (Chapters 14 & 15; Masahiro Umezaki)
- June 16 Human Ecology, Ecohealth and Global Health (Kazuhiro Moji)

【2018 年度】

- April 13 Orientation (Masahiro Umezaki & Shoko Konishi)
- April 20 Anthropological Perspectives on Health and Disease; Healers and Healing;
Diet and Nutrition in Health and Disease (Masahiro Umezaki)
- April 27 Child Growth and Health; Reproductive Health in Bio cultural Context;
Aging (Masahiro Umezaki)
- May 11 Infectious Diseases: Pathogens, Hosts, and Evolutionary Interplay;
Globalization, Poverty, and Infectious Disease (Masahiro Umezaki)
- May 18 Sustainability and Health; Environmental and Occupational Epidemiology
(Shoko Konishi)
- May 25 Environmental Justice and Vulnerable Populations;
Energy and Human Health (Shoko Konishi)
- June 1 Human Ecology, Ecohealth and Global Health (Kazuhiro Moji)

人類生態学特論Ⅱ (Human Ecology II)

【2017 年度】

- Oct 25 Human-Chimpanzee interfaces in the West African landscape: Evolution,
zoonoses, and conservation (Gen Yamakoshi)
- Nov 1 Role of Environmental Monitoring in the International Treaties,
Stockholm Convention and Minamata Convention (Yasuyuki Shibata)
- Nov 8 Introduction to Science of Population and Life-cycle (Ryuichi Kaneko)
- Nov 15 “Environmental Contaminants and Children's Health” (Seiichiro Himeno)

【2018 年度】

- Nov 7 Introduction to Science of Population and Life-cycle (Ryuichi Kaneko)
Nov 14 Human-Chimpanzee interfaces in the West African landscape:
Evolution, zoonoses, and conservation (Gen Yamakoshi)
Nov 21 Role of Environmental Monitoring in the International Treaties,
Stockholm Convention and Minamata Convention (Yasuyuki Shibata)
Nov 28 "Environmental Contaminants and Children's Health" (Seiichiro Himeno)
Dec 5 Current Topics of Human Gut Microbiome (Lena Takayasu)

卒業論文

【2017 年度】 【2018 年度】 該当なし

修士論文

【2017 年度】

Shun Iwakami / 岩上俊

Dietary determinants of nutritional status of Karen children in a mountainous area in Tak province, Thailand: Investigation using direct food weighing, food frequency questionnaire, and anthropometry

タイ・ターク県山岳部に居住するカレンの子どもの栄養状態を決定する食生活の要因：直接秤量、食物摂取頻度調査票、生体計測のデータを用いた検討

MST Roksana Khan

The association between short-term exposure to fine particulate matter and daily emergency room visits at a cardiovascular hospital in Dhaka, Bangladesh

微小粒子状物質濃度と循環器専門病院の日ごとの急患数との関連：バングラデシュ・ダッカにおける研究

【2018 年度】

Ayaka Shibazaki / 柴崎文香

Dietary and behavioral factors associated with blood pressure and body composition: a study in a rural community of Laos

血圧及び体組成に関連する食生活及び身体活動要因：ラオス農村部における研究

Maricor Carmela Amoguis leiri

Family environment and nutritional status of school children in Cebu, Philippines: a socio-ecological approach

世帯環境と学童の栄養状態：フィリピン・セブにおける社会生態学的研究

Richard III Flores Carino

What is the pioneer fetal microbiome in gestation?

A culture-based and 16S rRNA-based investigation of mice

培養法と 16S rRNA 系統解析を用いたマウス胎児の細菌叢獲得に関する研究

博士論文

【2017 年度】

Kyi Mar Wai

Impact of prenatal heavy metals exposure on birth outcomes and newborns leucocytes telomere length in Myanmar

妊娠期における重金属暴露が出生アウトカム及び新生児の白血球テロメア長に与える影響：ミャンマーにおける研究

【2018 年度】

該当なし

研究業績（2017 年・2018 年）

原著論文

【2017 年】

- Chen SM, Qiu L, Du ZH, Jin YM, Du JW, Chen Y, Watanabe C, Umezaki M (2017). Spatial clustering of severe hand-foot-mouth disease cases in Hainan Island, China. *Jpn J Infect Dis*, 70(6), 604-608.
- Hamamatsu Y, Goto C, Nishitani M, Shimadate R, Uenoe J, Kusakari Y, Umezaki M (2017). Associations between neighborhood food environments and deficient protein intake among elderly people in a metropolitan suburb: a case study in Kisarazu City, Japan. *Am J Hum Biol*, 29(6), e23043.
- Horwood P, Soli KW, Maure T, Naito YI, Morita A, Natsuhara K, Tadokoro K, Baba J, Odani S, Tomitsuka E, Igai K, Larkins JA, Siba PM, McBryde E, Umezaki M, Greenhill AR. (2017). A High Burden of Asymptomatic Gastrointestinal Infections in Traditional Communities in Papua New Guinea. *Am J Trop Med Hyg*, 97(6), 1872-1875.
- Kosaka S, Umezaki M. (2017). A systematic review of the prevalence and predictors of the double burden of malnutrition within households. *Brit J Nutr*, 117(8):1118-1127.
- Phosri A, Ueda K, Tasmin S, Kishikawa R, Hayashi M, Hara K, Uehara Y, Phung VLH, Yasukouchi S, Konishi S, Honda A, Takano H. (2017). Interactive effects of specific fine particulate matter compositions and airborne pollen on frequency of clinic visits for pollinosis in Fukuoka, Japan. *Environ Res*, 156:411-419.
- Rarau P, Vengiau G, Gouda H, Phuanukoonon S, Kevau IH, Bullen C, Scragg R, Riley I, Marks G, Umezaki M, Morita A, Oldenburg B, McPake B, Pulford J. (2017). Prevalence of non-communicable disease risk factors in three sites across Papua New Guinea: a cross-sectional study. *BMJ Global Health*, 2:e000221.
- Sakata S, Konishi S, Ng CFS, Kishikawa R, Watanabe C. (2017). Association of Asian Dust with daily medical consultations for pollinosis in Fukuoka City, Japan. *Environ Health Prev*, 22:25.
- Ser PH, Omi S, Shimizu-Furusawa H, Yasutake A, Sakamoto M, Hachiya N, Konishi S, Nakamura M, Watanabe C. (2017). Differences in the responses of three plasma selenium-containing proteins in relation to methylmercury-exposure through consumption of fish/whales. *Toxicol Lett*, 267:53-58.
- Stickley A, Ng CFS, Konishi S, Koyanagi A, Watanabe C. (2017). Airborne pollen and suicide mortality in Tokyo, 2001–2011. *Environ Res*, 155:134-140.

- Tomitsuka E, Igai K, Tadokoro K, Morita A, Baba J, Suda W, Greenhill AR, Horwood PF, Soli KW, Siba PM, Odani S, Natsuhara K, Morita H, Umezaki M. (2017). Profiling of faecal water and urine metabolites among Papua New Guinea highlanders believed to be adapted to low protein intake. *Metabolomics*, 105(13).
- Wai KM, Mar O, Kosaka S, Umemura M, Watanabe C. (2017). Prenatal Heavy Metal Exposure and Adverse Birth Outcomes in Myanmar: A Birth-Cohort Study. *Int J Environ Res Public Health*, 14(11):1339.

【2018 年】

- Konishi S, Ng CFS, Watanabe C. (2018). U-shaped association between fertility and mortality in a community-based sample of Japanese women. *J Epidemiol Community Health*, 72:337-341.
- Konishi S, Sakata S, Ng CFS, Watanabe C. (2018). Conception delay and spontaneous and indicated preterm birth among primiparous women in Japan. *Jpn J Health Hum Ecol*, 84:117-128.
- Konishi S, Sakata S, Oba SM, O'Connor KA. (2018). Age and time to pregnancy for the first child among couples in Japan. *J Pop Stud (Jinkogakukenkkyu)* 54:1-18.
- Konishi S, Yoshinaga J, Nishihama Y, Onoda Y, Chisaki Y, Imai H. (2018). Urinary 8-Hydroxy-2'-deoxyguanosine (8-OHdG) concentrations and menstrual cycle characteristics in female university students. *Int J Environ Res Public Health*, 15:2616 <https://doi.org/10.3390/ijerph15122616>.
- Kosaka S, Suda K, Gunawan B, Raksanagara A, Watanabe C, Umezaki M. (2018). Urban-rural difference in the determinants of dietary and energy intake patterns: A case study in West Java, Indonesia. *PLOS ONE*, 13(5): e0197626.
- Nishihama Y, Ameda R, Yoshinaga J, Konishi S, Yoneyama M, Nakajima D, Shiraishi H, Imai H. (2018). Inter- and intra-individual variation in urinary concentrations of parabens in male and female Japanese subjects. *J Environ Sci Health A*, 53:73-78.
- Sakata S, Konishi S, Ng CFS, Watanabe C. (2018) Preterm birth rates in Japan from 1979 to 2014: Analysis of national vital statistics. *J Obstet Gynecol Res*, 44:390-396.
- Stickley A, Ng CFS, Watanabe C, Inoue Y, Koyamagi A, Konishi S. (2018). General thoughts of death and mortality: findings from the Komo-Ise cohort, Japan. doi: 10.1017/S2045796018000434 *Epidemiol Psychiatr Sci*, 1-8.
- Suda K, Gunawan B, Kosaka S, Dede HA, Umezaki M. (2018). Changing cropping systems in Sundanese villages in West Java, Indonesia. *People and Culture in Oceania*, 34:79-88.

- Wai KM, Umezaki M, Kosaka S, Mar O, Umemura M, Fillman T, Watanabe C. (2018). Impact of prenatal heavy metal exposure on newborn leucocyte telomere length: A birth-cohort study. *Environ Pollut*, 243:1414-1421.

単行本

【2017 年】

該当なし

【2018 年】

- 梅崎昌裕 (2018) 「ロイ・A・ラパポート」 岸上伸啓 (編)『はじめて学ぶ文化人類学：人物・古典・名著からの誘い』 ミネルヴァ書房. pp. 83-88.
- 梅崎昌裕 (2018) 「パプアニューギニア高地における肉食」 野林厚志 (編)『肉食行為の研究』 平凡社. pp. 104-126
- 梅崎昌裕 (2018) 「文化としてのドメスティケーション」 高倉浩樹 (編)『総合人類学としてのヒト学』 放送大学教育振興会. pp. 23-37.
- 梅崎昌裕 (2018) 「からだの進化」 高倉浩樹 (編)『総合人類学としてのヒト学』 放送大学教育振興会. pp. 38-56.
- 梅崎昌裕 (2018) 「食べものをつくりだす技と場」 高倉浩樹 (編)『総合人類学としてのヒト学』 放送大学教育振興会. pp. 96-110.
- Konishi S, Tamaki E. (2018). Chapter 1 Introduction. In T, Hara (Ed.). *Springer Briefs in Population Studies, Population Studies of Japan* (pp. 1-12). Singapore: Springer Nature.
- Konishi S, Tamaki E. (2018). Chapter 2 Proximate Determinants of Fertility in Japan. In T, Hara (Ed.). *Springer Briefs in Population Studies, Population Studies of Japan* (pp. 13-42). Singapore: Springer Nature.
- Konishi S, Tamaki E, Yoshinaga J. (2018). Chapter 4 Directions for Future Research. In T, Hara (Ed.). *Springer Briefs in Population Studies, Population Studies of Japan* (pp. 59-63). Singapore: Springer Nature.

総説・資料・他

【2017 年】

該当なし

【2018 年】

- 梅崎昌裕 (2018) 人類集団の生存戦略に影響する要因としての少子高齢化. 日本健康学会誌, 84:257-263.
- 梅崎昌裕 (2018) 「食料資源と人口」 日本人口学会 (編)『人口学事典』 丸善出版. pp. 38-39.
- 梅崎昌裕, 田所聖志, 馬場淳, 濱島淳博 (2018) コミュニティーは高齢化・人口減少にどのように対処するか. 日本健康学会誌, 84:179.
- 小西祥子 (2018) 「生物人口学」 日本人口学会 (編)『人口学事典』 丸善出版. pp. 380-381.
- 小西祥子 (2018) 「妊娠と出産の数理モデル」 日本人口学会 (編)『人口学事典』 丸善出版. pp.492-493.
- 大塚柳太郎, 小西祥子 (2018) 「結婚と出生の人類生態学的分析」 日本人口学会 (編)『人口学事典』 丸善出版. pp.510-511.

学会発表

【2017 年】

- 小西祥子, 早乙女智子, 清水慶子, 大庭真梨, 鶴巻香奈子. 妊娠確率と性交のタイミングに関する予備的解析. 第 69 回日本人口学会大会, 2017 年 6 月 11 日, 仙台.
- 鶴巻香奈子, 佐方奏夜子, 小西祥子. 母親の人口学的特性と児の低出生体重. 第 69 回日本人口学会大会, 2017 年 6 月 11 日, 仙台.
- 増岡弘晃, 梅崎昌裕, 須田互, 富塚江利子, 山田章雄, 平山和宏. 「低タンパク適応」における腸内細菌叢の役割. 第 21 回日本腸内細菌学会, 2017 年 6 月 15-16 日, 神戸.
- Wai KM, Ohnmar, Kosaka S, Watanabe C. Prenatal Heavy Metal Exposure and Adverse Birth Outcomes in Myanmar: A Birth-Cohort Study. 49th Asia-Pacific Academic Consortium for Public Health Conference, August 17-19, 2017, Seoul, Korea. (Poster).
- 小西祥子, 西端慎一, 増山敬祐, 小澤仁. スギ・ヒノキ花粉飛散数と花粉症発症のタイミングに関する検討. 日本花粉学会第 58 回大会, 2017 年 9 月 17 日, 浜松.
- Kosaka S, Umezaki M, Watanabe C. Demographic and socioeconomic characteristics are associated with dietary and nutritional patterns in rural but not urban areas in West Java, Indonesia. 21th International Congress of Nutrition, October 15-20, 2017, Buenos Aires, Argentina. (Poster).
- 小西祥子, 西浜柚季子, 今井秀樹, 梅崎昌裕, 吉永淳. パラベン類曝露と妊孕力の関連. 第 82 回日本健康学会総会, 2017 年 11 月 10 日, 沖縄.

- 梅崎昌裕, 夏原和美, 末吉秀二, 後藤千穂, 田所聖志, 柳生文宏, 小谷真吾. 買い物環境と栄養素摂取量の関係－高齢化の人類生態学プロジェクト－. 第 82 回日本健康学会総会, 2017 年 11 月 11 日, 沖縄.
- 小谷真吾, 田所聖志, 梅崎昌裕, 夏原和美, 末吉秀二, 後藤千穂, 柳生文宏. 人口減少地域におけるソーシャル・キャピタル概念の適用に関する文化人類的検討. 第 82 回日本健康学会総会, 2017 年 11 月 11 日, 沖縄.
- 夏原和美, 柳生文宏, 田所聖志, 小谷真吾, 末吉秀二, 梅崎昌裕. ソーシャル・キャピタルの地域包括ケアへの活用可能性－高齢化の人類生態学プロジェクト－. 第 82 回日本健康学会総会, 2017 年 11 月 11 日, 沖縄.
- 柳生文宏, 夏原和美, 田所聖志, 小谷真吾, 末吉秀二, 後藤千穂, 梅崎昌裕. Food Frequency Questionnaire を用いた高齢者の栄養摂取パターンの変化. 第 82 回日本健康学会総会, 2017 年 11 月 11 日, 沖縄.

【2018 年】

- 小西祥子, 早乙女智子. 受胎待ち時間に関する前向きコホート調査：2 年後の追加調査の結果. 第 88 回日本衛生学会学術総会, 2018 年 3 月 24 日, 東京.
- Kosaka S, Suda K, Gunawan B, Raksanagara A, Watanabe C, Umezaki M. Urban-rural difference in the determinants of dietary and energy intake patterns: A case study in West Java, Indonesia. 23th International Conference of the Society for Human Ecology, July 8, 2018, Lisbon, Portugal.
- Umezaki M, Natsuhara K, Sueyoshi S, Goto C, Tadokoro K, Yagyu F, Odani S. Association between neighborhood food environments and nutrients intake among elderly people in five rural regions in Japan. 23th International Conference of the Society for Human Ecology, July 8, 2018, Lisbon, Portugal.
- Wai KM. Environmental contamination by heavy metals and its impact on maternal and child health in Myanmar. 23th International Conference of the Society for Human Ecology, July 9, 2018, Lisbon, Portugal.
- 小西祥子, 児塔栄子, 押川千恵, 宗信夫, 岸川禮子. 九州における 1989 年から 2014 年までのスギ花粉飛散数と気象条件の関連. 日本花粉学会第 59 回大会, 2018 年 9 月 22 日, 津.
- Umezaki M. Demographic decline and social innovation. World Social Science Forum 2018, 25-28 September (Fukuoka International Congress Center, Fukuoka). September 25-28, 2018, Fukuoka, Japan.
- Umezaki M. Dietary transition and its potential health impact: the study in three communities in Northern Laos. The 12th National Health Research Forum, October 16-17, 2018, Vientiane, Lao PDR.

- 水野佑紀, 小西祥子, 今井秀樹, 藤森英治, 児島伸彦, 吉永淳. 重金属類曝露とテロメア長との関連. 第6回メタロミクス研究フォーラム (共同開催: プラズマ分光分析研究会 第104回講演会), 2018年11月1-2日, 八王子.
- 水野佑紀, 小西祥子, 今井秀樹, 藤森英治, 児島伸彦, 吉永淳. カドミウム曝露とテロメア長との関連. メタルバイオサイエンス研究会 2018, 2018年11月16-17日, 仙台.
- 夏原和美, 柳生文宏, 田所聖志, 小谷真吾, 末吉秀二, 後藤千穂, 梅崎昌裕. 買い物頻度と高齢者の低栄養リスクとの関係: 高齢化の人類生態学プロジェクト. 第83回日本健康学会総会, 2018年11月23-24日, 前橋.
- 中尾理恵子, 大西真由美, 夏原和美, 後藤千穂, 小谷真吾, 田所聖志, 末吉秀二, 柳生文宏, 梅崎昌裕. 住民の買い物行動および主観的健康感と近隣居住環境との関連: 長崎エコヘルス調査. 第83回日本健康学会総会, 2018年11月23-24日, 前橋.
- 小西祥子. 既往出生児数と主観的健康—こもいせコホートにおいて健康調査票 THI を用いた検討—. 第83回日本健康学会総会, 2018年11月23-24日, 前橋.
- Konishi S, Nishihama Y, Imai H, Umezaki M, Yoshinaga J. Paraben exposure through sunscreen use and menstrual cycle. The 21st meeting of the Japan Society of Endocrine Disruptors Research 15-16 December 2018, Tokyo. (poster)
- Konishi S, Mizuno Y, Saotome TT, Shimizu K, Oba MS, O'Connor KA. Urinary iodine concentration and fecundability: A prospective study of pregnancy planners in Japan. The 21st meeting of the Japan Society of Endocrine Disruptors Research 15-16 December 2018, Tokyo. (poster)

受賞

【2017 年】

該当なし

【2018 年】

- 日本健康学会 平成 30 年優秀論文賞 (小西祥子)
Konishi S, Sakata S, Ng CFS, Watanabe C. Conception delay and spontaneous and indicated preterm birth among primiparous women in Japan. Jpn J Health Hum Ecol, 84:117-128.

競争的資金の獲得

【2017 年度および 2018 年度に新たに獲得したもの】

- 2017-2018 年度. 科学研究費補助金・基盤研究 (B). 研究課題番号：16H05254「小児における無機ヒ素毒性のセレンによる修飾：テロメア長を用いた検討」(代表者：渡辺知保, 分担者：小西祥子)
- 2017-2018 年度. ファイザーヘルスリサーチ振興財団 (国際共同研究). 「地域で探す少子高齢化社会の処方箋」(梅崎昌裕)
- 2017-2018 年度. 武田科学振興財団 (ビジョナリーリサーチ継続助成). 「人類の低タンパク適応に腸内細菌が果たす役割」(梅崎昌裕)
- 2017-2018 年度. 松下幸之助記念財団. 「インドネシア・スンダ農村の人びとにとっての「健康的な」食事とは何か？」(小坂理子)
- 2017-2019 年度. 科学研究費補助金・基盤研究 (C). 研究課題番号：17K12542「住民組織の「互助」機能：地域包括ケアシステムでの活用可能性」(代表者：夏原和美, 分担者：梅崎昌裕)
- 2017-2020 年度. 科学研究費補助金・基盤研究 (C). 研究課題番号：17H02233「東南アジア大陸山地部における小首長国-低地/山地関係の多様性」(代表者：富田晋介, 分担者：梅崎昌裕)
- 2017-2020 年度. 科学研究費助成金・若手研究 (B). 研究課題番号：17K17649「栄養転換の進展と世帯内二重負荷の関連ーインドネシア・スンダ農村における調査ー」(小坂理子)
- 2018 年度. ロッテ財団. 「インドネシア・西ジャワ農村の人びとはなぜ個食なのか？」(小坂理子)

教室員一覧（2017 年度・2018 年度）

名誉教授

鈴木 継美 (2008 年 5 月ご逝去)
大塚 柳太郎
渡辺 知保

教授

梅崎 昌裕 (2018 年 1 月～)

准教授

梅崎 昌裕 (～2017 年 12 月)
小西 祥子 (2018 年 6 月～)

助教

小西祥子 (～2018 年 5 月)
小坂 理子
高安 伶奈 (2018 年 7 月～)

特任研究員

水野 佑紀 (2018 年 4 月～8 月)
Kyi Mar Wai (2018 年 4 月～2019 年 3 月)
柳生 文宏 (2018 年 4 月～2019 年 3 月)

サポートスタッフ

大和田 昌代

博士課程大学院生

Kyi Mar Wai (～2018 年 3 月)
水野 佑紀 (2018 年 10 月～)

修士課程大学院生

Roksana Khan (～2018 年 3 月)
岩上 俊 (～2018 年 3 月)
Maricor Carmela Amoguis Ieiri (2017 年 4 月～2019 年 3 月)

Richard III Flores Carino (2017 年 4 月～2019 年 3 月)

柴崎 文香 (2017 年 4 月～2019 年 3 月)

木部 未帆子 (2018 年 4 月～)

伊奈 大樹 (2018 年 4 月～)

学部学生 (卒業論文)

該当なし

客員研究員

須田 一弘

吉澤 剛士 (～2017 年 6 月)

田所 聖志 (～2018 年 3 月)

富塚 江利子 (～2018 年 3 月)

野林 厚志 (2018 年 7 月～)

夏原 和美 (2018 年 7 月～)

富田 晋介 (2018 年 7 月～)

非常勤講師

金子 隆一

佐々木 誠一

柴田 康行

田所 聖志

中澤 港

新田 裕史

薮島 旭

橋爪 真弘

姫野 誠一郎

門司 和彦

吉田 稔

山越 言

2019 年度所属学生

博士課程大学院生

水野 佑紀

Maricor Carmela Amoguis leiri

Richard III Flores Carino

Caroline Kaori Tomo

修士課程大学院生

木部 未帆子

伊奈 大樹

山中 裕太

田久保 亜美

Kyu Hur

学部学生（卒業論文）

濱崎 貴介

永井 祐貴